

# 頸下腺摘出術手術を受けられる患者様へ（10日間）

頸下腺摘出術パス（悪性）【20020-01】

患者氏名\_\_\_\_\_ 様 入院病棟\_\_\_\_\_ 病棟 主治医\_\_\_\_\_ 担当看護師\_\_\_\_\_ No1

月日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/				
目標 毎日看護師と評価します	入院日 2日目 (手術日)	3日目 (術後1日)	4日目 (術後2日)	5日目 (術後3日)	6日目 (術後4日)	7日目 (術後5日)	8日目 (術後6日目)	9日目 (術後7日目)	10日目 (退院日)						
毎日看護師と評価します	□治療の内容がわかる		□ドレーンからの排液が前日より増量しない						□傷の自己管理ができる						
	□傷の腫れがない		□ドレーンが抜け創の抜糸ができる						□傷が開かない						
	□入院生活、手術についてわかる		□顔面神経麻痺（口角が下がるなど）の症状がない						□退院後の生活の注意点についてわかる						
	□体温が正常である（38℃以下）		□必要な時は痛み止めの薬を使用し、痛みが軽減できる						□ドレーン挿入中の注意点がわかり安全に取り扱いできる						
	□発熱がない（38℃以下）		□安静が守られている						□ドレーン挿入中の注意点がわかり安全に取り扱いできる						
	□安静が守られている		□安静が守られている						□安静が守られている						
内服・注射	・抗生素の点滴（1日2回） ・術日は補液（5時間程度）を実施します ・翌日以降は食事摂取状況に合わせて行うこともあります														
検査	 採血														
処置	・主治医から手術について説明があります ・麻酔科医、手術室看護師がお部屋に伺います		・毎朝6時にドレーン排液の測定を行います。（排液の量が減ってくると、ドレーンが抜けます） ・9時頃（休日は9時半）から病棟内の耳鼻科処置室で診察があります ・創部は透明なフィルムで保護しており、抜糸までそのままです												
食事・飲水	・絶飲食の時間を伝えします		・手術後は許可が出たら、飲食ができるようになります ※食事はお粥が出ます												
清潔	・浴室使用の時間については看護師からお伝えします ※ドレーンが抜けないように看護師がお手伝いします		・手術日から術後1日目まではタオルで体を拭くことになります ・看護師介助で洗髪ができます ・下半身シャワーに入ることができます												
安静活動	・院内自由 		・手術後、ベッドの頭側は少しあげておいた方が呼吸が楽になります ・トイレ・洗面以外はお部屋で過ごしましょう ・術後1日目より院内自由 												
説明指導	・手術後の起き上がり方、ドレーンチューブの取り扱いについて看護師から説明します		《手術後》 ・ベッドで手術室から帰ってきます・安静時間内（約2~3時間）は足に血栓ができるのを予防するためにフットポンプという機械を巻いています・また心電図モニターを装着させて頂きます ・手術室から酸素マスクを付けて帰ってきます・手術後に麻酔科医師から酸素投与時間の指示が出るためご説明します ・ドレーンが入っている間は、動く時、チューブが突っ張ったり、折れ曲がったりしないように注意しましょう ・痛い、吐き気がする、息が苦しいなどの症状があれば、ナースコールでお知らせ下さい 【退院後の生活について】 ・傷の管理については「傷のお手入れについて」のパンフレットを参照して下さい ・次回受診までは唾液が多く出やすい食材は控えて下さい												

注) 現時点で考えられる予定であり変更になることがあります

市立札幌病院 耳鼻咽喉科・7階東病棟 2019年12月作成、2024年9月改訂